
恋愛＊春夏秋冬

桜咲 優莉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛*春夏秋冬

【Nコード】

N9137H

【作者名】

桜咲 優莉

【あらすじ】

中学生の女の子の恋する気持ちを書いた詩です

春

クラス替え

先に見つけたのは
自分の名前じゃなくて
君の名前

何度見ても
クラスが違う
君と私

入学式

目に留まった男の子
あなたの存在に気づいたのはこの日から
好きになったのもこの日から

同じクラスに友達がいなかった私
そんな私によろしくと言ってくれたのは
隣の席の君でした

桜

男女の仲のいい友達みんなで来た花見

「来年もまた来ような」
君の言葉が嬉しかった

「花びらついでる」
そう言って私の髪に付いていた花びらをとってくれた
心臓がきゅうって締め付けられた

夏

梅雨

嫌いな梅雨
でも隣に君がいてくれたから
好きになった

「好き」
その言葉は
雨に消された

君に会えない
その日の気持ちは
ザーザーの雨のよう

夏休み

会いたくて

会いたくて
夏休みが嫌いになった

君の姿がおぼろげで
もっと目に焼き付けていればよかった
そう後悔した

夏祭り

出店で君の姿見かけ
それだけなのに嬉しくて
その日1日HAPPYになった

いつもと違う私服の君
なんだかとても
格好よく見えた

秋

運動会

いつもはふざけているけれど
ビシッと決めた団長の君
惚れ直しちゃった

アンカーで走る君
頑張れって

違う団なのについ応援しちゃう

君のハチマキがほしい
そう願っているけれど
それは叶わぬ願い

冬

雪

踏むたびにきしむ雪
それは私の
心を表しているようで

バレンタイン

君に受け取って
もらえなかったチョコ
それがとても虚しくて

卒業式

もうこれで
君の姿を見れなくなると思うと

涙が止まらなくなった

最初で最後の勇気

君に向かって言いました

「第二ボタンください！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9137h/>

恋愛*春夏秋冬

2010年10月11日00時44分発行